

博物館だより

第18号



▲長原7号墳出土の壺（当館蔵）

寄贈・寄託者の紹介

平成2年度も多くの方々からの資料の寄贈・寄託がありました。（敬称略）

寄贈者

自然

唐鎌郁夫 地震計	3台
宮下 勝（伊那市） 化石	744点

歴史

鹿野杉男（長野市浅川） 鹿野勇之進従軍関係	
内山真治（長野市篠ノ井） 写真週報・同盟ニュース他	1,000点
滝沢一広（長野市小島田） 川中島古戦場地図他	2点
佐枝藤静子（長野市荒木） 典籍（甲越信戦録他）	10点
藤本光禅（長野市篠ノ井） 典籍（扶桑略紀他）	約1,000点
中沢正明（長野市松代町） レコード	5点
渡辺 尚（長野市川中島町） 古文書	
竹前今朝治（長野市川中島町） 典籍	2冊
滝沢隆太郎（長野市高田） 軍靴・教科書他	10点

民俗

酒井 将（長野市小田切） 唐箕・すき他	4点
八田勝行（長野市若槻） 消毒用ポンプ	1点
林 俊秋（長野市七二会） 桑切り包丁他	2点
関屋忠一郎（長野市松代町） 箕・桑扱き他	5点
北村俊喜（更埴市土口） 魚取り用笊・簞他	3点
青木一幸（長野市川中島町） リソグラフ他	5点
塩入隆嗣（信州新町） カイコカゴ他	5点

寄託者

川中島町四ッ屋区 面（「享保元年」銘）	3面
青木十郎（長野市稲里町） 青木家文書	一括
妻科庚申講中 庚申講道具一式	一括
（長野市指定文化財）	

このほか、従来より寄託いただいた資料のうち、今年度で寄託期間の終了するものにつきましても、すべての方々にご更新いただきました。

寄託資料から

妻科庚申講人別帳および用具一式

(長野市指定文化財)

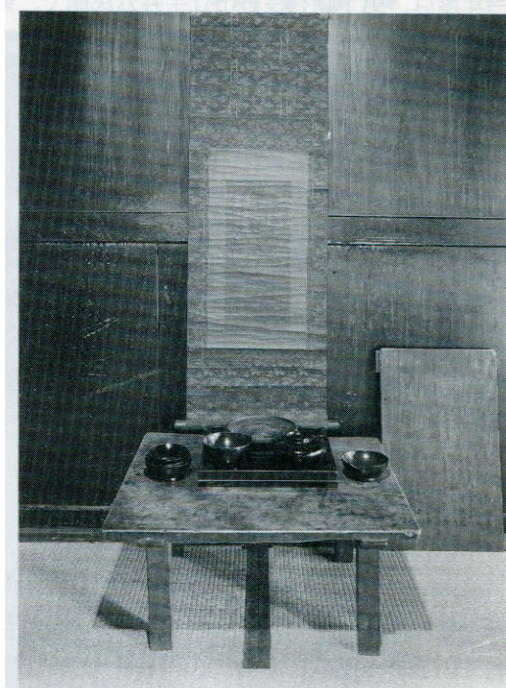
妻科は善光寺の西に位置し、延喜式内社といわれる妻科神社が存在します。

庚申講中は13人よりなり、年間12回の庚申講会が行なわれました。

これまで、展示資料として人別帳の寄託をうけていましたが、寄託期間の更新にあたり、掛軸や碗などの用具一式の寄託をうけました。

妻科庚申講の特質として、庚申講、勤行の呪言に「南無阿弥陀仏」を唱える。庚申講中人別帳は、寛永6年正月から昭和28年まで、毎年1枚ずつ、その年の講員の名を記すとともに、重大事項をその余白部分に記入する。等があげられます。

戦後、この行事は途絶え、その内容を知ることができませんが、伝えられてきた道具等を後世に伝えることにより、その一端を垣間見ることができるでしょう。



▲妻科庚申講の用具一式

信濃国更級郡中氷鉋村青木家文書

なかひがの

青木家文書は、東京教育大学（現・筑波大学）の佐藤常雄氏が中心となって整理が行なわれ、長野県史等にその一部が紹介されています。この文書群は、質・量ともに長野市内有数のもので、上田領の川中島村々について知るに不可欠の資料です。

このたび、現当主の青木十郎氏の文化財保護に対する御理解をいただき、全ての史料を御寄託いただくことになりました。

青木家は、代々中氷鉋村の庄屋を勤めると共に、上田藩の割番を勤めた家です。そのため、史料も中氷鉋村に関するもののみではなく、広く上田領・塩崎知行所に関係したものが多く存在します。

現在までに『青木家文書目録』が東京教育大学によって出されていますが、今後、未整理分を含めて、博物館所蔵目録として刊行する予定です。



▲青木家文書の整理風景

移

動

展

開催される

平成2年度からの新規事業として、移動展示を行ないました。

今年度は、第1回を長野市立芋井公民館で、第2回を長野市役所にて行ないました。



第1回

「教科書今昔」展

▶▶1990年4月7日～5月31日

博物館には、多くの市民の皆様から資料が寄贈されています。その中から、江戸末期の寺子屋教科書から、戦前の国定教科書まで展示しました。

その構成は、

- ① 寺子屋の時代
- ② 学制公布から近代教科書へ
- ③ 国定教科書の時代

からなります。

信州にあって寺子屋は、幕末期に隆盛を極め、これが明治期、「信州教育」と称される基礎を作りました。

明治5年の学制公布とともに、西洋的な自由主義が導入されましたが、国定教科書の登場とともに、教科書の画一化がはかられました。

展示では、これらの歴史的背景を理解していただくために、各時期の画期となる教科書を展示しました。

第2回

「市民参加の博物館活動より」

▶▶1991年1月25日～2月22日

博物館では、平成2年度も多くの教室、講座が企画・実施されました。こうした中から、参加者が制作したり、採集した作品を中心に展示しました。

その構成は、

- ① 自然分野
 - 化石教室
 - 天体写真教室
- ② 民俗分野
 - 竹細工教室
- ③ 考古学分野
 - 土器づくり教室

となっており、それぞれの教室での「成果」を一室に展示しました。

この企画は、博物館活動の一端を市民の皆さんに理解していただき、より広い層の人々に博物館を利用していただくことを目的として行なわれました。



博物館だより No.18 1991.3.30

編集・発行 長野市立博物館

〒381-22 長野市小島田町1414

☎ (0262)84-9011